広報座談会

活力とうるおいのあるまちづくり

南国市は、「にぎわいのあるまち」「快適な環境で住みよいまち」などのまちづくりを目指していますが、広報委員会では若い六人の方々をお招きして、家庭・地域・職場それぞれの立場で、ご意見をお伺いしました。

《出席者》

◇上田悦良　南国市大埇甲2337
◇上田卓子　〃　〃
◇小松倫子　〃　岡豊町中島1432
◇窪添まゆみ　〃　滝本550
◇北村佐和　〃　十市1840
◇小笠原智子　〃　緑ヶ丘一丁目401-2

《司会》

南国市広報委員会委員長　田岡信雄

司会　みなさんは、家庭で地域であるいは職場の第一線で若い力を発揮しておられる方々ばかりです。

きょうは、自分たちの生活設計の夢とか南国市への夢など、身近な話題から南国市の未来像を描きながら、いろいろとお話をお聞きしたいと思います。

子供たちによって未来を

上田悦良さん

上田（悦）　南国耕地事務所へ勤めており、南国市管内では水路の関係などを担当し、南国市の行政とも関係のある仕事をしています。

南国市は、高知市に次ぐ都市で潜在的成長力をもっており、今後、発展していくところだと思います。

これからは子供たちの時代です。子供たちによって未来を創り、住んでいってほしいと思います。

自分たちもそうですが、育った森林が見られれば住みつづけたくなるのではないでしょうか。他の地に出ていっても、ふるさとに帰ってふるさとのいいものは守り残していきたいという気持ちになります。

子供たちの一番の遊び場、子供の自主的な発想が育つ公園・遊園地は土や緑にふれることのできる場であってほしいです。川はきれいな水が流れていて、魚のいる川がいいですね。川にも昔のようなうるおいがあってほしいと感じます。

水を生かしたまちづくりも南国市の特徴になるのではないでしょうか。

上田卓子さん

上田（卓）　子供は四才の男の子で保育所に通っています。

私は、外交員をしながら子育てをしています。南国市に住んで六年になりますが、住んでいてよく見かけたのは家の前の水路にはまる子供です。何度も助けたことがあります。危険がありますね。公園もそうです。子供のために造ってあるように見えても、物の角がとれてなかったり、子供の目の高さでの遊具が置かれてなかったり危険がいっぱいかくれています。

自分が子育てをしてみないとわからなかったことがたくさん出てきました。やっぱり危険のない公園には子供がいます。造る人が子供の立場に立つとか、障害のある方の立場に立つとかを考えてほしいです。

司会　これをしたいあれをしたいという子供の発想が生まれる、そういう遊び場ができれば、ふるさとを愛する子供が増えるかもしれませんね。

一人ひとりの発想を創り出すところといえば、南国市の保育所も少しづつ発想を楽しむ場になっています。あけぼの保育所には、ステンドグラスがとりいれられ、広場には「エルマーのぼうけん」のりゅうが置かれていて、子供たちの人気者になっています。

近所に子供たちの公園を

小松　岡豊に住んでいて感じたことは、水道が引かれてなくて地下水ですね。地下水は良いと聞きますが、たんぼも多いことだし、今よくても何十年かたつと農薬などの心配も出てくるのではないでしょうか。水道を引いてほしいと思います。

下水道や浄化槽の設置も必要だと思います。それと、岡豊は子供たちの遊ぶ公園が少ないですね。近所に子供の遊べるブランコやすべり台があるだけでよいと思います。公園がほしいです。

子供が育っていく過程には自然になれ親しんで身体を動かすことのできる公園は大小はともかく必要ですね。

小松倫子さん

窪添　結婚と同時に南国市に住んで六年になります。

住んでみて一番驚いたのは、後免に行くのに交通の便が悪いということです。市役所とか税務署がある中心地に出るのに自家用車しか足がない。不便を感じますね。

それと気のついたことに、岡豊小学校へ行く国道から入る道が通学路でありながら整備されていないですね。側溝にふたをして歩道にしてもらえば、安全に通学通園できると思います。

家庭には二才と四才の子供がいます。二才の子は祖母にみてもらい、四才の子は保育所へ通っています。

北村　結婚当時は両親のいる南国市に住んでいましたが、仕事の関係でしばらくは高知市にいました。主人は十市で生まれ育っています。その後十市に帰り両親といっしょに園芸をやっています。主にしゅしとうを、趣味でメロンを作っています。

子供は三人で、祖父母といっしょにいられるので、ふれあいもでき、いいところがたくさんあります。上二人は小学生で、下は保育所へ通っています。学校も立派になったし、自然も残っているし、環境は大変良いと思います。

やはり交通の便が悪いですね。空港も近いのに車が運転できなければどこへも行けません。バスの回数が少ないですね。

小笠原　以前は高須に住んでいましたが、現在、緑ケ丘の県営住宅に住んでいます。子供は三人です。

小笠原智子さん

公園の話しがでましたが、公園は何か所もあります。ありますが、使われている公園は決まっています。使われていない公園は草がはえている状態です。

パークタウンを象徴する錦城公園はまほろば祭りやイベントが行われますが、公園のブランコ、鉄棒は小学校低学年や保育園の子供にはほとんどとどかないですね。支えてやらないと遊べない高さです。小さい子供も遊べるような公園であってほしいですね。

司会　心豊かな南国市づくりとして「健康文化と快適なくらしのまち創造プラン事業」のモデル都市として全国指定を受け、昨年十一月には、「健康文化都市国際フォーラム」が南国市で開催され、「健康文化のまちづくりを目指した交流と連帯」と題したサミットなどが行われていますし、また、地方拠点都市整備のまほろばの里アルカディア（南国オフィスパーク）、後免町再開発と高知空港の再拡張整備事業など、いよいよ事業の実施に向かっています。皆さん方にもいろいろなご意見をお聞きしたいですが、これからの南国市はどんなにしていったらよいのか、どんなことを望のか、二十一世紀へむけての夢などお聞きかせください。

魅力ある就業の場を

小松　アルカディア地区は、若者に魅力のあるオフィス街になるようですが、企業誘致はどんどんやってほしいですね。

子供が大きくなったら、南国市で仕事をしてもらう、そうすれば、人口も自然と増えていくだろうし、南国市は陸・海・空のゴールデントライアングルに位置しています。南国の立地条件を生かしていくことですね。

後免町　再開発で電車通りの整備はしないもんでしょうか。自転車やオートバイ、車が右往左往していて、危なくてしかたがありません。通るだけでなくて、市役所に入るのも大変です。歩道とか、電車の軌道を上に、下は道路にするとか、再開発はしないものでしょうか。

窪添　南国市に来た以上は住みつづけたいですね。八人家族で子供たちもおじいちゃんおばあちゃんと仲良しです。高知の南国市といえばインパクトのある名前ですね。明るいイメージをもった南国風にしていきたいですね。

観光客が訪れても印象的なまちでありたい。通りすがりのまちでなくて、南国市の特色を出した観光客への目玉になるようなものですね。

南国市は空港、インターもあり観光客が集まりやすいところでもあるし、交流人口を増やすことなど、いろいろ考えてみたいですね。

窪添まゆみさん

文化会館の建設はどうでしょうか、ぜひ建設してほしいですね。子供たちに生の音楽やおしばいを見せてやりたいですね。

小笠原　子育てまっ最中の、子供中心の生活です。

私は幸いにパークタウンの中で仕事をしていますが、十市の方では仕事するところがないですね。スーパーができると主婦がパートには行けるようになるかもしれませんが、今、団地の方は近くても介良、高須あたり、高知市に仕事に行っています。

企業誘致は大いに必要でしょうね。働くところがなければ住むことになりません。若い人たちも県外などに行かずにすみます。将来よくなってほしいですね。

自分の実家は南国市だし、南国市に住んでいきたい。石土池には水鳥が見られ、蓮の花が咲き、自然といっしょに暮していけるすばらしい環境だと思います。

上田（悦）　仕事の関係で安芸や中村にも住んだことがありますが、仕事・生活の両面でも交通の便の良さは南国が一番だと思います。

これから若年層を中心とした人口の定着を促進するには、まず、若者に魅力ある就業の機会を創出することだと思うし、公園の整備、上下水道の整備は必要でしょうね。

グラウンドもあればもっとスポーツに熱が入ると思います。平成十四年には高知県で国体があります。それに向けてのグラウンド整備をしてほしいですね。

北村　園芸の仕事は根をはってやっていきたいと思います。サラリーマンからの転職で初めは窮屈で世間から取り残されている思いでしたが、今では子供たちの学校関係のお付き合いもできて世間が広くなりました。

北村佳和さん

子供は農業に魅力がないとやっていかないでしょうね。地理的には非常によいところですが、農業後継者問題となると、難しいですね。地域の活性化は人づくりでしょうから、魅力のある農業にしていくためには、地域のリーダーが必要でしょうね。学習会にも出かけて視野の広い人間にならなければと思います。

女性が主体的に考え行動を

上田（卓）　高知は坂本龍馬とか人のために生きた人が多くいますが、南国のために高知のためにヨ本のためにという人が出てこないと発展はないと思います。

一人ひとりが人のために何かをという気持ちを持たなければいけないと思います。まず、家庭の中で主婦が考え方を変えていく時代になったと思いますね。

子育ても家庭教育からといいます。女性が主体的に考え行動をしていかなければならないと思いますね。

司会　すっかり、まちかどウオッチングができました。大都市では人や物や情報に活気があります。南国市にもパワーを持った人がたくさんいます。そのパワーで魅力のあるどこにもないまちづくりをしていきたいと思います。南国市へ初めて来られたときの新鮮な目や心で、活力とうるおいのあるまちづくりをしていきましょう。

司会　田岡保雄

きょうはありがとうございました。

統計調査にご協力を

第十九回商業統計調査（通商産業省）が七月一日現在で、卸売・小売業を営んでいるすべての事業所を対象に行われます。七月から八月にかけて調査員がおうかがいしますので、ご協力をお願いします。

なお、南国市では国勢調査や農林業センサスなど各種の統計調査にあたっていただく調査員を募集しています。

あなたの積極的なご協力をお待ちしています。

※お問い合わせは企画課広報統計係（☎市役所内線423）まで

安全な地域社会へ向け

安全で住み良い地域社会を実現するためには、生活に危険をおよぼす犯罪、事故、災害などの被害を未然に防止する活動が重要です。この活動を推進するためには、地域住民、自治体、警察の連携を強化することが不可欠になってきます。

そこで、地域住民が先行的集中的な活動を自主的に推進するため、警察庁からそ国に九地区が「地域安全活動パイロット地区」に指定され、南国警察署管内も指定を受けました。これにより、従来の防犯連絡所制度の見直しを図り「地域安全推進の家」を設置、六月十二日に、百六十一人を「地域安全推進員」として委嘱しました。これから、同推進員を各地域の中核として、地域住民のニーズにあった地域安全活動を推進していきます。【南国警察署】

姉妹都市　みちのく岩沼市

「とんちゃん」ってなに？

岩沼で「とんちゃん」といえば、だれもが知っている食べ物です。焼いた（人によっては半生で）とんちゃんをタレにつけて食べながらのお酒は格別。手ごろな値段でおいしく食べられるとんちゃん、岩沼では大人から子供まで多くの人に好まれています。

さて「とんちゃん」とは何でしょうか？豚の内臓、つまり「ホルモン」のことなのです。ホルモン焼きの看板を見たことのある人は多いと思いますが、「とんちゃん」は特別。真ん中の盛り上がった専用の鍋で焼き、特製のタレを使います。

岩沼では、何気なく呼ばれているとんちゃんですが、老舗と言われる店でもその名前の由来についてはっきりとしたことはわかりません。ただ、愛好家の多くが「とん」が豚の意味で、親しみを持ってちゃんづけで呼ぶようになったのではないか、と言うようにすっかり人々の間に浸透しています。

夏の暑いときに、野外で大勢で鍋を囲むのもよし、冬の寒いときに一杯やりながら食べるのもよし、こんなとんちゃん、南国市の皆さんもどうですか。

危ない！　火事がお年寄りの命をねらっている

住宅火災で亡くなる方は年間約1000人。そのうち半数が65歳以上のお年寄りで、死亡原因のトップは「逃げ遅れ」です。火事に巻き込まれたとき、お年寄りがいかに犠牲になりやすいかがこのデータからわかるでしょう。また、発火源のトップはたばこの不始末、着火物のトップはふとん類で、このことから「寝たばこが火事に」という現実が浮かび上がってきます。おじいちゃんの寝たばこは大丈夫？家族全員が心を合わせ、お年寄りを火事から守りましょう。【消防署】